

記者会見要旨

(平成 29 年 10 月 3 日開催)

I 協会の最近の動き

1. 会長に就任して1年2か月程が経ちました。当協会が直面する様々な課題を解決するため、大きく三つの柱に分けて取り組んで参りました。最近の状況については、先週9月28日に金沢の研究大会の際に行った記者会見で説明させていただき、その内容を資料1にまとめました。本日は、簡単にお話しします。
2. 一番目は「公認会計士監査の信頼回復と向上に向けて」についてです。監査は、資本市場のインフラ、信頼の要として、重要な存在であります。協会では市場関係者とともに自らの改革を推進しなければならないという認識の下、施策を推進していますが、その要として、我が国における監査及び監査法人に関する情報開示を拡充し、透明性の向上を図りたいと考えております。
3. 二番目の「社会で貢献し活躍するための環境作りに向けて」に関しては、少子高齢化が進む中、私共は、社会に貢献する公認会計士を掲げ、活力ある地域社会作りに向けて取り組んでおります。民間企業のみならず地方公共団体や非営利法人の透明性向上やガバナンス強化、そして、経済性・効率性の確認などを行うことが、地方公共団体や非営利法人の生産性向上にもつながり、ひいては地域の活性化、地方創生にもなると考えており、効率的なパブリックサービスに対しても専門家として貢献していきたいと考えております。
4. 三番目は「国際性、多様性を担える人材の確保と公認会計士の魅力向上に向けて」です。企業が海外に活路を見出す場合の支援など、公認会計士は様々な形でグローバルに活躍しており、そうした人材がさらに求められています。また、変化の激しい世の中において、多様な価値観を受け入れ、多様性を担える人材の確保も重要と考えています。
5. 最後となりますが、公認会計士法は1948年7月6日に制定され、来年は70周年を迎えます。関連団体等との連携を強化し、今後共、公認会計士が、社会からの様々な期待に応え、全国の経済の健全な発展、そして公共の利益により一層貢献していくことが重要であり、今後70年、80年、90年、100年と更に一層発展できるよう尽力していきたいと思っております。

II 「社外役員会計士協議会」、「公認会計士社外役員ネットワーク」について

1. 平成27年6月にコーポレートガバナンス・コードが策定されたことが設置の背景にあります。このコーポレートガバナンス・コードでは、成長戦略の一貫として、社外役員が積極的に取締役会に参加することで企業の取締役会を活発化し、前向きな攻めのガバナンスを実現し、企業価値の向上に資することを目的として、社外取締役2名以上を選任すべきとされております。
2. おかげさまで、現在、1,832社に1,562名の公認会計士の方が財務・会計の専門家とし

て社外役員の職についています。我々としては、社外役員に就任された方が、きちんと独立性をもって職務に当たり、公認会計士としての知見のみならず、社外役員として必要な知識もアップデートして会社の長期的発展に貢献できるようにはなくてはならないと考えており、そのため、協会では、「社外役員会計士協議会」及び「公認会計士社外役員ネットワーク」を発足したところです。

3. 協会としても 1,500 名程の公認会計士の方が社外役員に就任しているということに社会的責任があり、公認会計士の方をネットワーク化し、社外役員としての役割や責務の理解を深めること、必要な知識をアップデートしていくこと、会社での経験の共有を図る機会を作り、更に公認会計士の社外役員としての力量を高めていきたいと考えています。なお、公認会計士社外役員ネットワークの会員には、正会員のほかに賛助会員があり、賛助会員は今後社外役員になりたい方などに登録いただくことを想定しております。
4. 協議会としましては、現在、社外役員に就任している公認会計士の方々及び今後就任することを目指す公認会計士の方々のネットワーク化、加入の促進を進めております。研修会の企画では、社外役員として必要な知識を維持・向上していくために、取締役協会や監査役協会等が実施している研修なども参考にしながら、どのようなカリキュラムがよいのかの検討を既に開始しています。その他、実際の企業との意見交換を通じて、企業側の意見も取り入れながら施策を実施することなどにより、公認会計士社外役員ネットワークの運営をしていきたいと考えています。
5. 公認会計士の社外役員としての適格性の維持・向上を図ることで、社会からの評価が高まり、更にネットワークの会員が増える、というような好循環が生まれる環境作りも行って参ります。今後、上場企業全てとはいわないまでも、社会からの要請によってほとんどの上場企業で公認会計士が社外役員に就任するようになることを目標として努力していきたいと思っています。

以 上